

子宮頸がん予防ゼロプロジェクト

子宮頸がん征圧をめざす  
専門家会議

## 第6回子宮頸がん予防活動奨励賞

### 受賞団体の活動ポイント

2017年9月14日

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

## 阿南里恵氏 受賞のポイント

- 自身が子宮頸がんを体験し、抗がん剤治療、手術、放射線治療の受け、5年後の2010年より、がん啓発セミナーなどの講演活動始める。
- 自身の体験を通して、多くの女性に子宮頸がんを理解してもらうために自らの体験を語る講演活動を始めた。中学、高校、大学などで「がん教育」や「いのちの授業」を実施している。
- 若い女性等を対象にした講演会や学校での授業の場、またメディアを対象に講演活動を続けている。
- 2015年2月自らの体験をつづった「神様に生かされた理由(わけ)」(合同出版)書籍を出版。
- 公益財団法人日本対がん協会の広報活動、特定非営利活動法人日本がん・生殖医療研究会 患者ネットワークを担当し活動の幅を広げた。
- 国家プロジェクトである「がん対策推進企業アクション」ではアドバイザーレポートメンバーとしてがん検診受診率の向上に取り組んでいる。

## 未来を守ろうプロジェクト 受賞のポイント

- 子宮頸がんを同世代の若者に正しく理解してもらうために、平成26年度から札幌市の学生が発信源となり活動を開始。
- 一般市民を対象に、子宮頸がん検診の重要性を認識してもらうための啓発活動を行う。子宮頸がんによる死亡者を減らし、また子宮摘出による赤ちゃんが産めない女性がなくなるよう、子宮頸がん検診受診を促している。
- メディアへの出演、イベントでの講話・ブース出展、普及啓発媒体の作成・配布等を積極的に行なっている。
- 今後もイベントでの講話・ブース出展、啓発リーフレットの配布等を計画している。

## チーム・アイジェンヌ 受賞のポイント

- 子宮頸がんの早期発見のための検診受診率を高めるための啓蒙活動を通じて、「あの時、もっと早く検診を受けておけば」という思いを持つ人を一人でも減らすよう活動している。
- 八王子市を中心に市内各所で行われるイベントに出典し、企業や店舗の協力を基に子宮頸がんの理解を高めるための活動を実施。
- SNS (Facebook・twitter) やブログ、YouTubeなどによる情報発信している。
- クラウドファンディングを基に、東京ガールズコレクション2016秋冬 (2016年9月3日開催) にブース出展し、「20歳になったら子宮頸がん検診を」というメッセージを発信した。
- 今後もイベントへのブース出展、ホームページの開設、八王子市内の中学、高校、大学と協力した啓蒙活動等を計画している。

### 付記

当初、「自己検診キット」を勧めていたいきさつがあり、当会議の審査員よりこの点について疑義を指摘されたが、現在はこの検診方法が適切なものでないことを理解され、推奨を控えている。以上により「条件付き」の受賞とした。